



時間は二度と戻らない



国	籍	インド
職	種	介護
実習実施者		一般社団法人Orange Kids' Care Lab.
監理団体		福揚協同組合

アジズミヤナバル マンスールピール モハンマド フセイン
AZIZMIYANAVAR MANSOORPEER MOHAMMAD HUSEIN

私は2年前にインドから日本へ来ました。福井の障害児通所施設で働いていますが、ここで働いている外国人は私一人だけです。日本へ来て、日本の文化、日本人の考え方、働き方を学ぶことが私の夢だったので、日本へ来た当初は毎日をととても幸せな気持ちで過ごしていました。しかし、生活に慣れてきた時、周囲に同じ国の人がいないことを寂しく思うようになりました。その上、コロナ感染が広がり、行動範囲に制限がかかったことによって、私は孤独を感じ始めました。

一人でいる時、いろいろなことを考え始めました。インドの家族や友達を恋しく思い、国で彼らに囲まれ、いつも当たり前のように過ごしていたことがどんなに大切なことだったかを実感しました。同時にインドにいた時は彼らと貴重な時間を過ごす機会を簡単に逃していたことにも気づきました。例えば、家族が休日一緒に過ごしてと頼んだり、友達が旅行に一緒に来ると頼んだりしても「今度ね」と断っていました。そして、彼らにいつあなたの「今度」が来るのかと言われていました。しかし実際は、その断った時間を自分のために有効に使うどころ

か、無駄にするような過ごし方をしていました。

今彼らと一緒にいられない私は、それらの全ての時間がどれほど貴重であったかを理解しました。私は寂しさと後悔でインドに帰りたいとも思いました。しかしそう思う度に、どうして今日本にいるのかを考え直しました。そしてこの時間を無駄にせず、有効的なものにしなければいけないと踏みとどまりました。夢を叶えるために来たのですから。

改めてどうすれば良いかと考えました。私が大切にすべきことは人との関わりだと気づき、日本語を再度学び始めることにしました。日本語の先生といろいろな場所にも出掛けて、世界がひろがっていきました。またご近所さんをはじめ、多くの人とコミュニケーションを取るように心がけました。皆さん親切に日本の文化や習慣を教えてくださいました。組合にも支えてもらい、仕事にも慣れ、その結果、JLPTのN2にも合格できました。私は時間を上手に使えたと思いました。

私は日本に来て、時間に対しての意識が大きく変わりました。愛する人を失い、一緒に過ごした思い出を振り返ることしかできなくなったり、昨今コロナの影響で会いたくても人に会えなかったりします。ですから、私たちは大切な人たちと時間を共有できる時にしっかり共有することが大切で、それができないなら、共有できない時間を意味ある時間にすることも大切だと思いました。

時間は二度と戻らない非常に貴重なものです。何かをする前によく考え、まるで最後の瞬間であるかのように一瞬一瞬を大切にしたいと思いながら、私は今福井での生活を有意義に過ごしています。インドへ帰ったら今度は大切な人との時間をもっと大切にしたいと思いつつ。